

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

特別会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	包括的支援事業（認知症初期集中支援チーム等）	事業番号	011-067
担当部署名	健康福祉 局	長寿社会 部	長寿支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④認知症支援策の推進		
			有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
		寄与するKPI	無	取組	—		
			有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3(2021)～5(2023)年度）				
3	事業開始年度	平成 27 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	介護保険法				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	高齢者及びその家族や地域住民	対象数	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	認知症であっても高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるための体制整備を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症初期集中支援チーム（認知症早期発見・早期対応のために、認知症の方及びその家族の初期支援を包括的、集中的に行う医師・医療職・福祉職からなるチーム）の設置 ○認知症地域支援推進員の配置 ○嘱託医（医師による認知症困難事例への訪問指導）制度の整備 ○認知症支援のてびき（認知症ケアパス）の作成・普及 				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	（社福）堺市社会福祉協議会、（公財）浅香山病院、（医）杏和会 阪南病院				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	初期集中支援チームの支援件数	件		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			目標値	100	100	100	100
			実績値	66	54		
	達成率	66%	54%				
当該指標を選定した理由	認知症の早期対応に関する指標として重要であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理で設定している目標値を引用						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	嘱託医による認知症困難事例への訪問指導数	件		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	30	30	30	
			実績値	40	22		
	達成率	133%	73%				
当該指標を選定した理由	認知症の進行予防に関する指標として重要であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	過去からの訪問実績に基づいた最適な回数を設定						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	包括的支援事業（認知症初期集中支援チーム等）	事業番号	011-067
-------	------------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	38,229	38,006	38,272	38,060	38,535
13 財源					
国支出金	14,719	14,632	14,735	14,654	14,835
府支出金	7,358	7,316	7,367	7,326	7,418
市債			0	0	0
内 其他 (被保険者保険料)	8,794	8,741	8,803	8,754	8,864
内 受益者負担金(使用料、手数料等)			0	0	0
内 一般財源	7,358	7,317	7,367	7,326	7,418
14 人件費 (b)	4,100	4,100	4,100	4,100	4,050
15 年間経費(c)=(a)+(b)	42,329	42,106	42,372	42,160	42,585

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源	
					R4	R5			
16 事業費内訳	委託料	R4 決算	37,742	7,264	研修会等参加負担金	R4	決算	308	60
		R5 予算	38,033	7,321		R5	予算	346	67
	謝礼金	R4 決算	0	0	R4	決算			
		R5 予算	46	9	R5	予算			
	消耗品	R4 決算	0	0	R4	決算			
		R5 予算	12	2	R5	予算			
印刷製本費	R4 決算	0	0	R4	決算				
	R5 予算	88	17	R5	予算				
通信運搬費	R4 決算	10	2	R4	決算				
	R5 予算	10	2	R5	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 初期集中支援チームの支援件数	件	66	54
② 上記①にかかる年間経費	千円	20,400	20,400
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	309,091	377,778
備考 (算出についての説明等)		初期集中支援チーム1件にかかる経費について	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>初期集中支援チームは、周知が一定進んだことにより、近年の実績はあまり増加していないが、いわゆる「困難事例」に専門職のチームできめ細やかに対応できる体制を確保しておくことは、市全体の認知症施策の質を維持・向上させるために今後も必要である。</p> <p>嘱託医相談も、初期集中支援チームとの役割分担ができており、市民の相談の種類によって適切な支援ができており、多様な認知症支援として有効である。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>認知症の初期集中支援チームや認知症地域支援推進員を各地域基幹型包括支援センターに配置し、認知症支援に携わる専門機関を中心とした医療・介護・福祉など地域の関係機関が緊密な連携を行うことにより、認知症の方や家族を総合的に支える体制の整備を進めており、高齢者が認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることに寄与している。</p>
----	--